

2024年3月期 第3四半期決算

2024年2月2日
株式会社デンソー



2024年3月期 第3四半期決算のポイント

1. 第3四半期累計の売上収益は、日米を中心とした好調な車両販売、円安の進行、注力領域製品などの拡販により、前年比で増収
営業利益は、操業度差益や為替差益、合理化努力があるものの、電子部品を中心とした部材費高騰の継続に加え、品質引当の追加により、前年比で減益
2. 年間の業績予想は、第3四半期の為替差益に加え、第4四半期の為替前提を円安方向に見直したことにより、売上収益を7兆1,200億円に上方修正
営業利益は、為替差益があるものの、品質引当の追加により4,950億円に下方修正

2024年3月期 第3四半期決算のご説明をいたします。
ポイントは、2点です。

まず、1点目は当期の実績です。

第3四半期累計の売上収益は、日本・北米を中心とした好調な車両販売、円安の進行、電動化・安心・安全製品などの注力領域を中心とした拡販の実現により、前年比で増収となりました。

営業利益は、操業度差益や為替差益、合理化努力があるものの電子部品を中心とした部材費高騰の継続に加え、品質引当の追加により前年比で減益となりました。

2点目は、年間の業績予想です。

年間予想は、第3四半期の為替差益に加え、第4四半期の為替前提を円安方向に見直したことにより、売上収益を7兆1,200億円に上方修正いたします。
一方営業利益は、品質引当の追加により4,950億円に下方修正いたします。

2024年3月期 第3四半期累計 連結決算

【単位：億円、%】
(売上収益比)

	22/12期実績		23/12期実績		増減額	増減率
売上収益		46,357		53,549	+7,192	+15.5%
営業利益	(5.8%)	2,679	(4.5%)	2,386	△294	△11.0%
税引前利益	(6.4%)	2,982	(5.4%)	2,887	△94	△3.2%
当期利益(※1)	(4.3%)	1,978	(3.3%)	1,756	△222	△11.2%

前 提 条 件	為替レート	1ドル	136.5円	1ドル	143.3円	6.8円 円安	-
		1ユーロ	140.6円	1ユーロ	155.3円	14.7円 円安	-
		1元	19.9円	1元	20.0円	0.1円 円安	-
	国内車両生産		572万台		663万台	+91万台	+15.9%
	海外日系車生産		1,278万台		1,364万台	+86万台	+6.7%

(※1) 親会社の所有者に帰属する当期利益



FY2024 3rd Quarter Financial Results / February 2nd, 2024
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

2/10

次に、第3四半期累計の概要について、ご説明いたします。

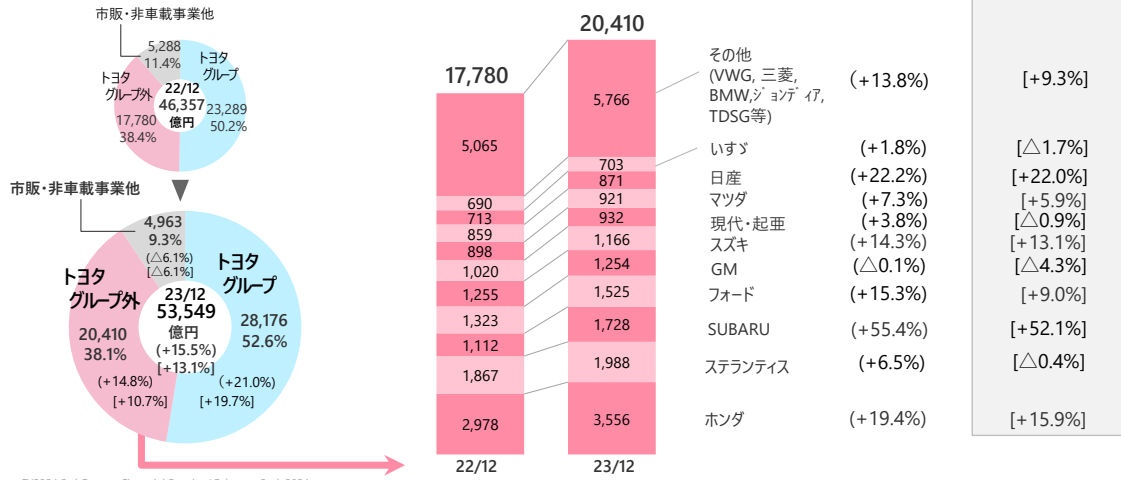
売上収益は、5兆3,549億円と、
前年比プラス7,192億円、プラス15.5%の増収となりました。

営業利益は、2,386億円と、
前年比マイナス294億円、マイナス11.0%の減益となりました。

2024年3月期 第3四半期累計 売上収益（得意先別）

【単位：億円】
 (前年比増減)
 [物量ベース増減(為替除く)]

売上収益	46,357	⇒	53,549	前年比増減	(+15.5%)	物量ベース増減 (為替除く)	[+13.1%]
・トヨタグループ	23,289	⇒	28,176		(+21.0%)		[+19.7%]
・トヨタグループ外	17,780	⇒	20,410		(+14.8%)		[+10.7%]



DENSO FY2024 3rd Quarter Financial Results / February 2nd, 2024
 Crafting the Core © DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

3/10

次に、売上収益について
 得意先別・製品別にご説明いたします。
 ご説明は、為替の影響を除いた現地通貨ベースです。

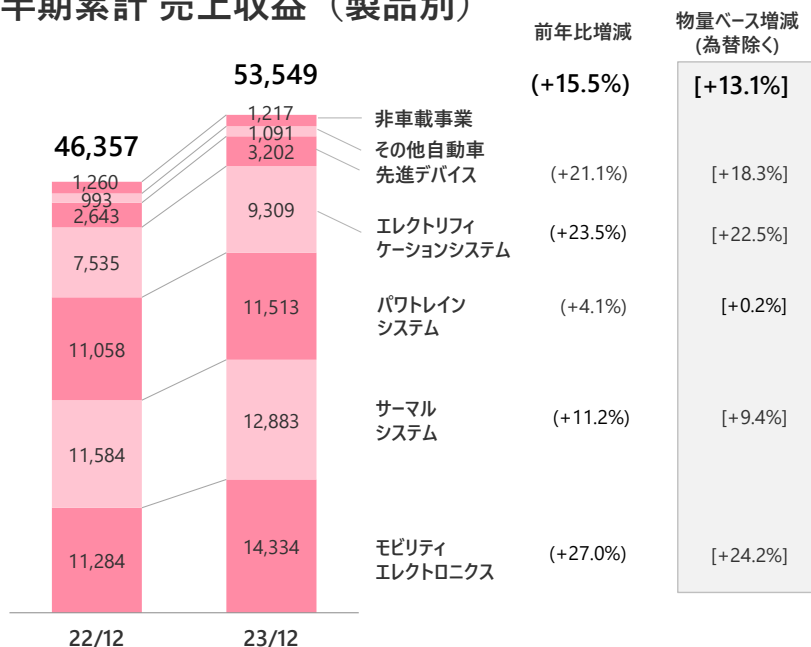
半導体不足が緩和傾向にあり、車両生産が回復基調にあることから、
 全体では前年比プラス13.1%になりました。
 特に日本・北米での車両生産の回復が大きく、トヨタグループをはじめとした日系得
 意先が回復を牽引しました。

2024年3月期 第3四半期累計 売上収益（製品別）

【単位：億円】

（前年比増減）

〔物量ベース増減(為替除く)〕



DENSO
Crafting the Core

FY2024 3rd Quarter Financial Results / February 2nd, 2024
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

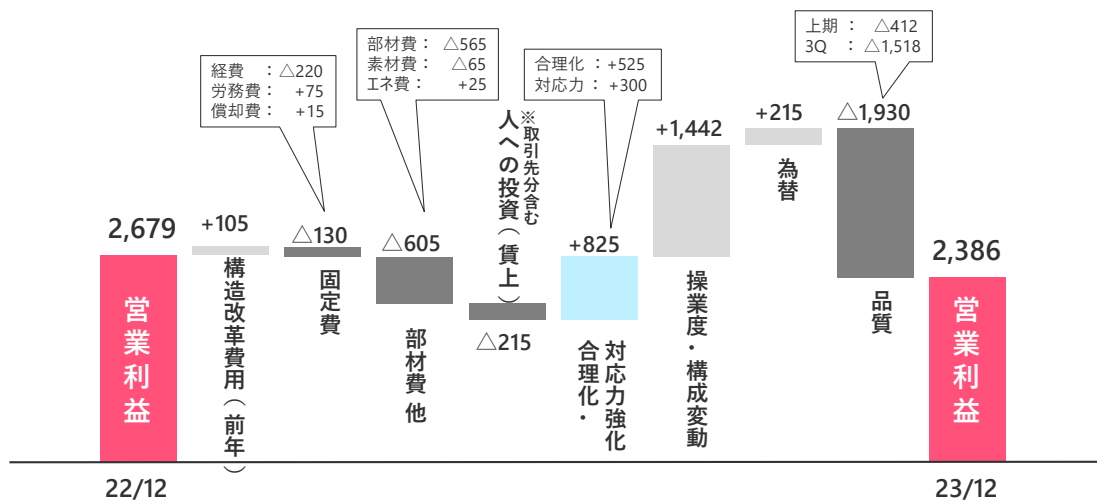
4/10

製品別においては、
電動化製品や安心・安全製品の拡販が全社の成長を牽引しました。

具体的には、
エレクトリフィケーション事業におけるインバーターやモータージェネレーター、

モビリティエレクトロニクス事業においては
先進安全システムのGSP3やHMI-ECUなどの増加によるものです。

2024年3月期 第3四半期累計 営業利益増減要因（前年比）

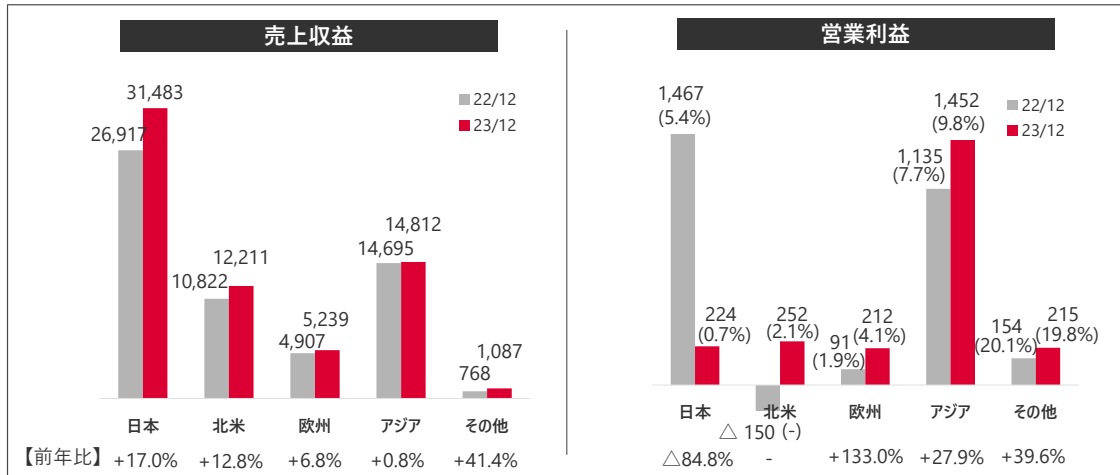


次に、第3四半期累計の営業利益の増減要因をご説明いたします。

電子部品を中心とした部材費などの高騰は、合理化・対応力強化の効果で打ち返すことができました。加えて車両生産回復による、操作度差益などの増益要因があるも、冒頭申し上げました品質引当の追加により、前年比で減益となりました。

2024年3月期 第3四半期累計 所在地別セグメント情報（前年比）

【単位：億円】
（売上収益比）



※為替影響を除く：前年為替レートを使用（136.5円/ドル、140.6円/ユーロ、19.9円/元）

DENSO
Crafting the Core

FY2024 3rd Quarter Financial Results / February 2nd, 2024
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

6/10

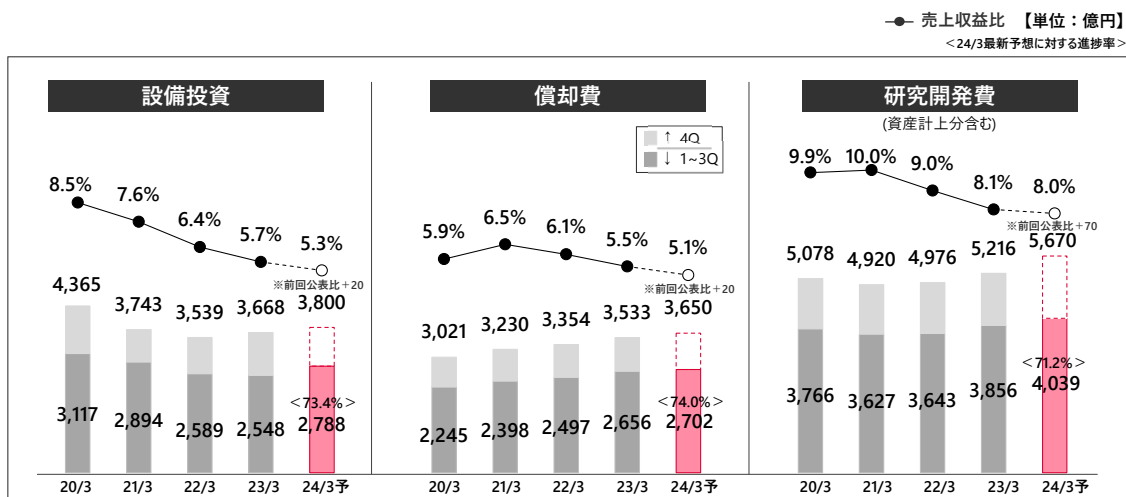
次に、地域別の状況です。
ここでは、日本以外の地域は、
為替の影響を除いた現地通貨ベースでご説明します。

売上収益は、
半導体不足の緩和や、日本・北米を中心とした好調な車両販売により、
全地域で前年比増収となりました。

営業利益は、操業度差益に加え、全地域での採算改善努力により、
品質引当があった日本を除き、各地域で前年比増益となりました。

アジアでは、韓国での構造改革が完了し、
北米では、構造改革に加え、電動化・安心・安全製品の拡販が進み、
収益体質が向上しております。

設備投資・償却費・研究開発費の推移



< 直近の取り組み事例 >

- ・設備投資：24年1月よりデンソー・マニュファクチャリング・ハンガリーにて、トヨタ向インバーター量産開始
- ・研究開発費：高性能デジタル半導体(SoC)の車載化研究開発を行う「自動車用先端SoC技術研究組合」に参画

DENSO
Crafting the Core

FY2024 3rd Quarter Financial Results / February 2nd, 2024
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

7/10

次に、設備投資、研究開発費です。

設備投資の当期の実績は、前年比プラス240億円の2,788億円です。規律を持った投資精査を、確実に実行しつつも、電動化や先進安全などの注力領域への必要な投入を加速させています。

直近の投入事例をご紹介しますと、電動化領域の生産体制強化に向けた設備投資を順調に進めており、24年1月よりデンソー・マニュファクチャリング・ハンガリーにて、トヨタ向けINVの量産を開始いたしました。今後は、トヨタ以外のお客様に向けた生産も、順次進めてまいります。

年間予想は、為替を円安方向に見直すことによる増加分のみ反映し、前回公表からプラス20億円の3,800億円といたします。

研究開発費の当期の実績は、前年比プラス182億円の4,039億円です。CASE領域を中心とした開発ニーズの急激な高まりに対し、量産設計の効率化を進める一方で、先行開発にリソースシフトすることで、メリハリを持った開発を実現しています。

直近の先行開発事例をご紹介しますと、車載ECUの高性能化・多機能化などを可能にする、車載用高性能デジタル半導体SoCの研究開発に取り組んでおり、2030年以降の量産車両へ搭載することを目指し、「自動車用先端SoC技術研究組合」への参画を決定しました。最先端技術の実用化に向け、国内外・産官学の連携のもと開発を進めます。

年間予想は、為替の円安方向への見直しと、成長領域への投入強化を反映し、前回公表からプラス70億円の5,670億円といたします。

2024年3月期 通期予想

【単位：億円、%】
(売上収益比)

	前回予想	今回予想	増減額	増減率	23/3期実績	増減額	増減率
売上収益	70,000	71,200	+1,200	+1.7%	64,013	+7,187	+11.2%
営業利益	(9.0%) 6,300	(7.0%) 4,950	△1,350	△21.4%	(6.7%) 4,261	+689	+16.2%
税引前利益	(9.8%) 6,840	(7.7%) 5,480	△1,360	△19.9%	(7.1%) 4,569	+911	+19.9%
当期利益(※1)	(6.7%) 4,700	(5.3%) 3,800	△900	△19.1%	(4.9%) 3,146	+654	+20.8%
ROE(※2)	9.7%	8.1%	-	△1.6%	7.3%	-	+0.8%

前提条件	為替レート	1ドル	140.5円	1ドル(※3)	143.7円	3.2円 円安	-	1ドル	135.5円	8.2円 円安	-
		ユーロ	151.7円	12ユーロ(※3)	155.2円	3.5円 円安	-	ユーロ	141.0円	14.2円 円安	-
	1元	19.6円	1元(※3)	20.0円	0.4円 円安	-	1元	19.7円	0.3円 円安	-	
	国内車両生産	(※4) 908万台		881万台	△27万台	△3.0%		792万台	+89万台	+11.2%	
	海外日系車生産	(※4) 1,852万台		1,808万台	△44万台	△2.4%		1,696万台	+112万台	+6.6%	

(※1) 親会社の所有者に帰属する当期利益

(※2) 自己資本利益率

(※3) 4Qの為替レート見込：145.0円/ドル、155.0円/ユーロ、20.0円/元

(※4) 前回予想における車両生産予想は、減産リスク未織り込み

DENSO
Crafting the Core

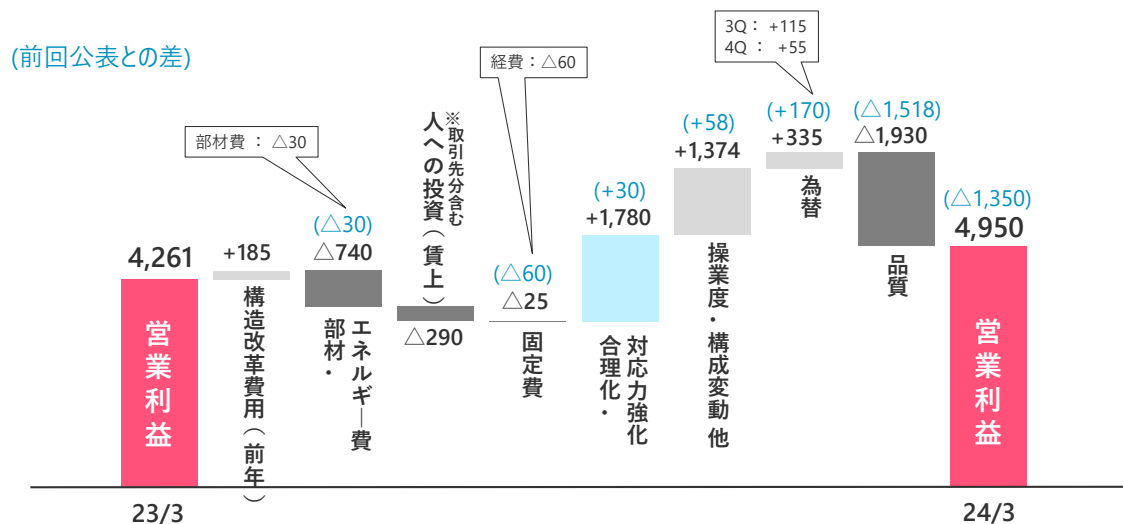
FY2024 3rd Quarter Financial Results / February 2nd, 2024
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

8/10

続いて、年間の業績予想です。

冒頭でも申し上げました通り、
売上収益を、プラス1,200億円の7兆1,200億円に上方修正し、
営業利益を、マイナス1,350億円の4,950億円に、下方修正いたします。

2024年3月期 通期予想 営業利益増減要因（前年比）



DENSO FY2024 3rd Quarter Financial Results / February 2nd, 2024
Crafting the Core © DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

9/10

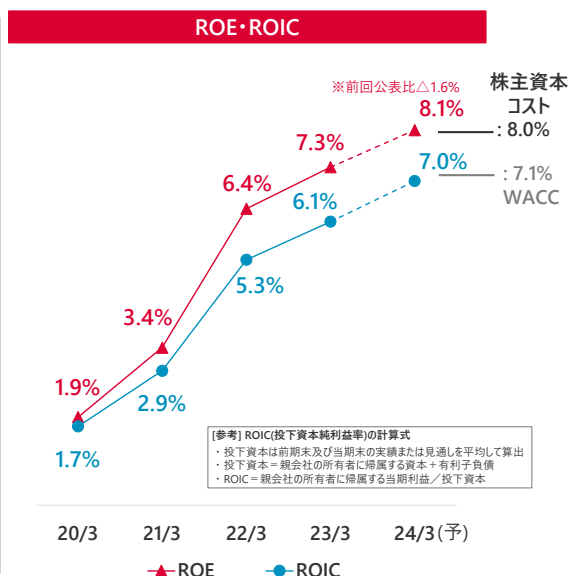
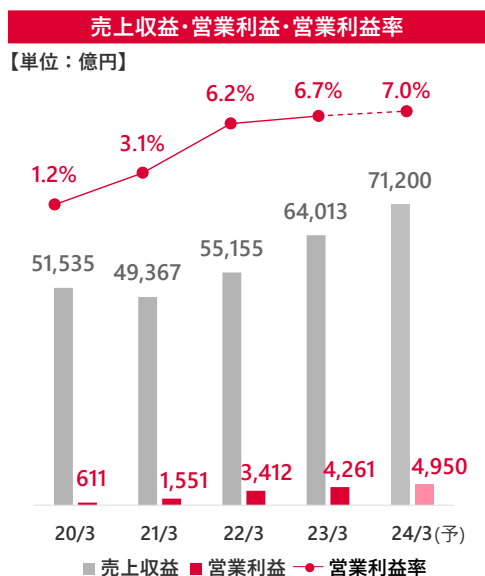
年間予想の営業利益増減については、主に前回公表からの変化点となる、青文字の部分についてご説明いたします。

まず、為替は、第3四半期での円安による為替差益と、第4四半期の為替前提の変更を織り込み、プラス170億円、

操業度も、第3四半期での実績と、第4四半期の車両生産増加見込み分の一部を織り込み、プラス58億円となりました。

また合理化・対応力強化の効果により、プラス30億円となるも、品質引当の追加によりマイナス1,518億円となり、年間予想としては1,350億円の下方修正となります。

主な財務指標の推移



DENSO
Crafting the Core

FY2024 3rd Quarter Financial Results / February 2nd, 2024
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

10/10

次に、主な財務指標の推移です。

今回、年間の業績予想を下方修正したことで、ROEは8.1%に、ROICは7.0%となりました。

政策保有株式については、豊田合成、愛知製鋼、東海理化様をはじめ、今年度において5銘柄の縮減を完了しております。

当社は、今後も理念・成長性・ROICという3つの判断軸を基に、資本コストを意識した経営を、力強く推進してまいります。

以上で、2024年3月期 第3四半期決算のご説明を終了いたします。ありがとうございました。

DENSO
Crafting the Core